

令和5年度決算の概要

令和5年度の各会計の決算が令和6年9月に開催された中間市議会で認定されました。

みなさんから納めていただいた市民税などの税金や地方交付税などの収入で、魅力あるまちづくりに向けて事業を実施いたしました。

一般会計決算では、歳入総額は199億9,102万円、歳出総額は190億7,814万円となり、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は9億1,288万円の黒字となりました。

翌年度へ繰り越した事業に充てるべき財源である1,376万円を差し引いた実質収支は8億9,912万円の黒字となっています。

○ 各会計別決算の状況

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	単年度収支
一般会計	199億9,102万円	190億7,814万円	9億1,288万円	8億9,912万円	△2億23万円
特別会計国民健康保険事業	46億4,278万円	53億344万円	△6億6,066万円	△6億6,066万円	△861万円
住宅新築資金等特別会計	244万円	3億2,102万円	△3億1,858万円	△3億1,858万円	231万円
地域下水道事業特別会計	1億1,307万円	1億1,188万円	119万円	119万円	△31万円
公共用地先行取得特別会計	0	0	0	0	0
介護保険事業特別会計	53億5,988万円	50億106万円	3億5,882万円	3億5,882万円	2,176万円
保険事業勘定	53億1,769万円	49億7,382万円	3億4,387万円	3億4,387万円	1,858万円
サービス事業勘定	4,219万円	2,724万円	1,495万円	1,495万円	318万円
後期高齢者医療特別会計	8億7,438万円	8億5,546万円	1,892万円	1,892万円	165万円
合計（縦計）	309億8,357万円	306億7,100万円	3億1,257万円	2億9,881万円	△1億8,343万円

※単年度収支とは、前年度以前の収支の累計を加味しない本年度のみの収支を示す値です。

（本年度実質収支－前年度実質収支）

※各項目の数値は、合計等を一致させるため、端数を調整している場合があります（以下、同様）。

○ 一般会計の状況

・ 歳入の状況

市税	42 億 6,357 万円	21.3%	<table border="1"> <tr> <td>自主財源 67 億 6,539 万円 (33.8%)</td> </tr> <tr> <td>依存財源 132 億 2,563 万円 (66.2%)</td> </tr> </table>	自主財源 67 億 6,539 万円 (33.8%)	依存財源 132 億 2,563 万円 (66.2%)
自主財源 67 億 6,539 万円 (33.8%)					
依存財源 132 億 2,563 万円 (66.2%)					
繰越金	11 億 5,218 万円	5.8%			
諸収入	4 億 4,698 万円	2.3%			
寄附金	4 億 683 万円	2.0%			
使用料及び手数料	1 億 8,765 万円	0.9%			
繰入金	1 億 8,600 万円	0.9%			
財産収入	9,618 万円	0.5%			
分担金及び負担金	2,600 万円	0.1%			
地方交付税	54 億 4,893 万円	27.3%			
国庫支出金	47 億 6,409 万円	23.8%			
県支出金	14 億 2,565 万円	7.1%			
地方消費税交付金	9 億 200 万円	4.5%			
市債	3 億 9,526 万円	2.0%			
地方譲与税	1 億 1,633 万円	0.6%			
その他依存財源	1 億 7,337 万円	0.9%			
歳入総額	199 億 9,102 万円	100.0%			

・ 市税収入の状況

個人市民税	15 億 3,993 万円	36.1%
法人市民税	1 億 8,240 万円	4.3%
固定資産税(土地)	4 億 8,222 万円	11.3%
固定資産税(家屋)	8 億 4,093 万円	19.7%
固定資産税(償却資産)	3 億 6,886 万円	8.7%
固定資産税(交付金)	5,476 万円	1.3%
軽自動車税	1 億 2,942 万円	3.0%
たばこ税	3 億 5,870 万円	8.4%
都市計画税(土地)	1 億 3,755 万円	3.2%
都市計画税(家屋)	1 億 6,880 万円	4.0%
市税総額(縦計)	42 億 6,357 万円	100.0%

・歳出の状況

福祉サービスの提供など	民生費	96億2,690万円	50.5%
窓口サービスなど行政の運営	総務費	36億4,581万円	19.1%
保健医療やごみ処理など	衛生費	12億9,171万円	6.8%
学校や体育施設の充実に	教育費	12億2,378万円	6.4%
借入金の返済に	公債費	11億9,741万円	6.3%
道路や公園の整備に	土木費	11億6,593万円	6.1%
消防防災対策に	消防費	5億3,069万円	2.8%
地域経済の振興に	商工費	1億6,675万円	0.9%
市議会の運営に	議会費	1億5,989万円	0.8%
農業の振興に	農林水産業費	6,460万円	0.3%
雇用対策に	労働費	467万円	0.0%
災害の復旧に	災害復旧費	0万円	0.0%
歳出総額		190億7,814万円	100.0%

○ 積立金及び地方債現在高（普通会計）

	令和5年度末	住民1人当り
積立金	77億3,078万円	約19.7万円
地方債	102億1,264万円	約26.0万円

令和6年3月末住民基本台帳人口：39,320人

○ 健全化判断比率

単位：%

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—	—	4.0	—
(—)	(—)	(3.3)	(—)
【13.36】	【18.36】	【25.0】	【350.0】

※()は前年度数値、【 】は早期健全化基準です。

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は赤字額がないため、将来負担比率は将来負担額に対し充当可能財源額が上回ったため、「—」と表記しています。

○ 資金不足比率

単位：%

公営企業会計の名称	水道事業会計	公共下水道事業会計
資金不足比率	不足額なし	不足額なし
【20.0】	(不足額なし)	(不足額なし)

※()は前年度数値、【 】は経営健全化基準です。

○ 令和5年度の主な事業の紹介

令和5年度中に実施した事業のうち、市民生活や地域経済に関連した事業を中心にご紹介いたします。

■ 中間市市民会館（なかまハーモニーホール）舞台機構設備修繕事業 決算額 4,895万円

中間市市民会館（なかまハーモニーホール）に設置されている舞台機構（吊物）の保守点検において、経年劣化、金属疲労、摩耗等により一部部品の取替が必要と指摘されました。これを放置すると落下事故や人身事故が発生する恐れがあることから、舞台機構設備修繕を実施しました。

■ 中間市市民会館（なかまハーモニーホール）防水等改修事業 決算額 6,781万円

開館から25年以上が経過した中間市市民会館（なかまハーモニーホール）の老朽化に伴い、屋上防水が著しく劣化し、雨漏りが発生したこと、特定建築物定期検査によって是正が必要と判断された外壁があり、外壁が剥落する事故が発生する恐れがあったことから、屋上防水改修工事、外壁改修工事を行いました。

■ 防犯カメラ設置支援事業 決算額 369万円

自転車盗などの犯罪を抑止することを目的とし、利用者が安心して駐輪場を利用できるよう、無人駅であるJR中間駅東口、西口、JR筑前垣生駅及び筑鉄東中間駅に隣接する駐輪場に防犯カメラの設置を行いました。

■ 子ども医療費の助成事業 決算額 1億2,963万円

子どもの医療費の不安を解消するため、出生から18歳になる年度末までの子どもの通院、入院、調剤に係る費用を助成し、子ども医療の充実を図りながらその健康と福祉の増進に寄与しました。令和5年10月より中学生から18歳になる年度末までに対象者を拡充し、県の基準を上回る助成を行いました。

■ 中間市総合会館（ハピネスなかま）改修事業 決算額 3,615万円

福祉及び保健に関する機能を集約し複合化施設とするため、排煙設備や駐車場の整備など大規模改修を行いました。また、福祉避難所として機能するため、老朽化していた非常用自家発電機を更新しました。

なお、令和6年4月1日から中間市総合会館（ハピネスなかま）は、中間市総合会館（ハピネスなかま）本館となりました。

■ 筑前垣生駅舎屋根等再塗装事業 決算額 457万円

筑前垣生駅舎において、建物の老朽化に伴い屋根や外壁に塗装の劣化等が発生し、雨漏りや外壁の剥落等の恐れがあるため、塗装改修を行い、利用者の利便性の確保に努めました。

■ 深坂団地改修事業 決算額 2,627万円

外壁及び底部の老朽化によるコンクリート破片の剥離剥落を防止するための外壁改修及び屋上防水改修工事を行い躯体の長寿命化を図りました。

■ なかま夢応援奨学金事業 決算額 300万円

中間市在住の篤志家2名による2,000万円の寄付を原資に、令和4年度に給付型奨学金としてなかま夢応援奨学金基金条例を制定し、なかま夢応援奨学金基金に2,000万円を積み立てました。中間市在住で学ぶ意欲と能力のある高校生が大学進学を諦めることなく、将来の夢の実現に向かって学ぶことを目的として、事業初年度である令和5年度は3件給付を行いました。

■生涯学習センター改修事業

決算額 1億3,971万円

中央公民館等の機能を移転し複合化施設とするため、建設から30年近く経過し、老朽化していたことを踏まえ、令和5年9月1日から令和6年3月31日まで臨時休館し内装改修、空調更新、体育館吊り天井耐震改修、非常用発電設備更新など大規模改修を行いました。

なお、令和6年4月1日から中間市総合会館（ハピネスなかま）別館となりました。

○ 新型コロナウイルス感染症及び物価高騰等対策事業の紹介

令和5年度においては、感染症法の位置づけが5類移行とはなったものの影響が残る新型コロナウイルス感染症に加え、物価高騰による市民生活及び地域経済への影響も引き続き大きいことから、安全で安心な市民生活を営むことができるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などの国の交付金等を活用し行った対策事業をご紹介します。ここで紹介する事業はワクチン接種事業や物価高騰緊急支援給付金など国主導で全国的に行われた事業は省略しています。また、以下の事業のほかにも感染防止対策として、保育所などに感染症対策における支援や小中学校への感染症対策における体制整備を行いました。

■KBCテレビ地上デジタル・データ放送地域情報発信サービス事業 決算額 132万円

本市が発信する重要な情報（新型コロナウイルス関連、災害・不審者情報）やお知らせ等をKBCテレビのデータ放送を活用し、dボタンから簡単に取得できるサービスを実施しました。

■中間市保育所等給食支援事業 決算額 517万円

保育所等に対して給食の材料費の一部を補助することにより、給食の材料費が高騰する中でもこれまでどおりの栄養バランスや量を保った給食を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図るため、中間市保育所等給食支援費補助金を交付しました。

■水道基本料金減免事業 決算額 1億3,871万円

水道料金の基本料金分を、令和5年8月納付分から令和6年3月給付分までの8ヶ月間の減免を実施するため、水道事業会計に対し必要経費の繰り出しを行いました。

■地域経済活性化対策事業 決算額 7,273万円

中間商工会議所が実施した市内の店舗や事業所で使用できるプレミアム率30%の紙の商品券を2万4千冊、デジタル商品券を8千セット販売する商品券事業に対して補助金を交付しました。その結果、約4億1,600万円が市内で消費され、地域経済の活性化に寄与しました。

■学校給食費緊急支援事業 決算額 1億4,152万円

不安定な世界情勢により引き起こされた原油高騰等に伴う生活必需品の物価高騰から中間市立小中学校児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費の全額を緊急的に補助しました。

■オンライン学習教材利用事業 決算額 267万円

オンライン学習用ドリル教材を導入し、個別の習熟状況に合わせて、補充的な学習ができる環境を整え、タブレット端末を活用した学習指導の充実を図りました。

■GIGAスクールサポーター配置・派遣事業 決算額 462万円

学校現場の負担を軽減しながらICT利活用を進めることができるようGIGAスクールサポーターを派遣しました。教育委員会常駐のGIGAスクールサポーターを1名任用し、学校でのタブレット端末導入にあたっての環境整備と学校における利活用支援を行いました。